

阪神西部（武庫川流域圏）地域総合治水推進計画の見直しについて

計画策定期間の中間（5年目）となったことから、各取り組みの進捗状況や地域ニーズへの対応等の観点を踏まえ、計画内容の一部を見直す。

見直し内容の主なものは以下のとおり。

(1) 局所的な被害軽減対策の掲載

河川中上流部のうち、近年、越水による家屋や公共施設の浸水実績があるなど、治水安全度の低い箇所において、上下流バランスに配慮しながら現地の状況を踏まえた適切な治水安全度向上対策を実施することについて、地域総合治水推進計画に位置付ける。（p28, p58）

(2) 各種データの更新、取り組み内容等の時点修正

災害等のデータや既定計画を最新の情報に更新するとともに、各章の各表に記載の取り組み内容を、従前の“現在の取り組み”と“今後の取り組み”から、“これまでの取り組み”と“今後の取り組み”に構成を改めて時点修正する。

○表 1-2「既往水害の概要」に、平成 26 年災害の概要を追記（p22）

○6.6「森林などの流出抑制機能を有する土地の保全等」の記載を、第 2 次山地防災土砂災害対策 5 年計画（H26～30）、新ひょうごの森づくり第 2 期対策（H24～33）、災害に強い森づくり第 3 期対策（H28～32）を踏まえたものに修正（p73～77）

○表 6-16「その他の雨水貯留・浸透に関する取り組み一覧」の雨水貯留タンク設置助成実績や庁舎建替えに伴う透水性舗装の実績などを記載（p81～82）

○7 章「減災対策」の各表について時点修正

・表 7-1「水害を知るツールの整備に関する取り組み一覧」では、ハザードマップ作成状況に加えて、地域の地盤高を表示する掲示板を設置するなどの新たな取り組みを追記（p86～88）

・表 7-2「人材の育成に関する取り組み一覧」では、防災士資格取得試験受験料・同資格登録料の助成実績、土砂災害避難行動説明会の開催実績、小・中学生への防災授業の実績、今後のひょうご防災リーダー講座受講の補助制度検討などを追記（p90～91）

・表 7-4「同報無線、移動無線の充実に関する取り組み一覧」では、市内全域への野外拡声器配置、コミュニティ FM との連携実績などを追記（p95～96）

・表 7-10「自主防災組織の結成推進や水防活動への支援に関する取り組み一覧」では、自主防災組織未結成自治会等への結成推進、自主防災リーダー育成に努める取り組みなどを追記（p105～106）

(3) 工程の見える化

地域総合治水推進計画の年次計画や進捗状況を広く一般に明らかにするため、計画の付属資料として、フォローアップシート作成する。